

NPO 法人教育支援グループ Ed. ベンチャー 教育講演会 2020

ヤングケアラーを考える

子どもの視点から学校教育を問いなおす

2020.

2/24 月・休 13:00~17:00
(12:30開場)

- 講演 ※当事者のお話もあります。
- パネルディスカッション

会場 大和市文化創造拠点 シリウス6F
大和市生涯学習センター601講習室

参加費 一般：1,000円
学生：500円(高校生以下無料)

講師 澁谷 智子

成蹊大学文学部准教授。障がいや病気のある家族のケアをする子どもを研究。専門は社会学。著書に『コーダの世界—手話の文化と声の文化』(医学書院、2009年)、『ヤングケアラー—介護を担う子ども・若者の現実』(中公新書、2018年)など。



後援：大和市教育委員会

「学校」が制度化されて以降、教室で進められる「教育活動」の裏側では、子どもたちへの「(福祉的) ケア」の一部または入り口を教師達が担ってきた。それは、歴史的には、個々の教員が農村に入り、子どもたちを学校に結びつけるための働きかけであったり、時代が変われば、街の中でともすれば見えなくなってしまう子どもたちに光を当てる活動であったりした。もちろん、これらの活動が、学校の表だった機能として認められてくることはなかったが、「日本型学校教育」と評されるものの裏側をずっと支えてきたことにはまちがいない。

そして今、人口減少・生産性の低下といった縮小していく社会と、格差が広がる状況を目の前にして、「ヤングケアラー」という存在が指し示す、私たちの社会のあり方が問われている。ヤングケアラーの実態はいかなるものなのか、我々は何をするべきなのか……。教育と福祉という未だ整理されない問題を、イギリスでの取り組みを参考にしながら改めて考えてみたい。それは、今の社会を子どもの視点から捉え直す営みでもあるはずだ。

NPO法人教育支援グループEd(えど).ベンチャーは、2007年に、市民、退職教員・現職教員、研究者らが集まり立ち上げた社会教育団体です。目的は、子どもたち、学校、先生、保護者らが直面する問題を社会構造に照らして理解・共有し、とくに弱い立場に置かれた子どもに焦点をあてつつ、すべての子ども、先生や学校が明るい未来を創造するためのお手伝いをすることです。皆様に支えられ、2017年には設立から10年を迎えました。今後ご支援・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

※当日は10:30~Ed.ベンチャー定期総会が行われます。

ご興味のある方は是非ご参加下さい。



主催・問い合わせ

NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

TEL/FAX : 046-272-8980
E-mail : toiwase@edventure.jp